

SFC 研究所所長 殿

SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書

ラボ名称	ケースメソッド・ラボ					
ラボ代表者	氏名	國領 二郎 ・ 飯盛 義徳	所属	総合政策学部 教授 ・ 総合政策学部 教授		
ラボ設置期間	2015年4月1日		～	2021年3月31日	6	年間

構成メンバー（提出時点）		
氏名	所属・職位	役割
國領二郎	総合政策学部・教授	全体統括、プラットフォーム構築、教育 研修の提供
飯盛義徳	総合政策学部・教授	全体統括、ケース教材の作成と運用
秋山美紀	環境情報学部・教授	ヘルスケア分野のケース教材開発と運 用、教育効果の検証
梅嶋真樹	政策・メディア研究科・特任准教授	プラットフォームの構築、教育研修の提 供
大出敦	法学部・教授	文学分野のケース教材開発と運用
小池智子	看護医療学部・准教授	看護分野のケース教材開発と運用
新保史生	総合政策学部・教授	情報法、リーガル関連のケース教材開発 と運用
武林亨	健康マネジメント研究科・教授	ヘルスケア分野のケース教材開発と運用
琴坂将広	総合政策学部・准教授	ビジネス分野のケース教材開発と運用
伴英美子	SFC研究所・上席所員	ヘルスケア分野のケース教材開発と運 用、教育効果の検証
横瀬勉	SFC研究所・上席所員	ビジネス分野のケース教材開発と運用

## 年次活動実績報告

研究活動報告 (設置申請書、継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。)

### ■目的

本ラボラトリーは、ケースメソッド教育およびケースメソッド教授法の理解を広め、普及を推進することを目的とする。ケースメソッドとは事例を討議する形式で進める教育方法で、近年ではビジネスや法律の分野から、地域政策・公共政策、医療・福祉などの幅広い分野に、その活用が急速に広がっている。特に、実践力（統合力・洞察力・戦略的意思決定力、問題発見解決能力など）の向上に有効とされるため、専門職大学院や実務家教育の現場でケースメソッド教育による人材育成へのニーズが高まっている。しかし、有効性は認められているものの、ケースメソッドは授業法、ケース教材開発など、講師特有のノウハウに依拠している現状であり、多くの人々が受講、体験できるような状況ではなく、普及のための方策が希求されているところである。

本ラボラトリーは、慶應義塾大学SFC（総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科）が、塾内の教養研究センターなどの組織や、他大学とも連携しながら、ケースメソッド教育のノウハウやケース教材の蓄積と共有、普及促進、人材育成などを推進するための拠点を目指す。開発するケース教材は、SFCをはじめとする塾内の学部や大学院の授業はもとより、他大学、企業や自治体などの研修でも活用できるよう展開方法についても検討する。

### ■研究分野

当ラボラトリーでは、主に下記の研究活動を推進する。

1. ケース教材の開発  
主として、ベンチャー企業、ヘルスケア、地域づくりなどの非営利組織のケース教材の開発を行う。
2. ケース教材の管理・普及プラットフォームの構築  
開発したケース教材が幅広く活用されるためのプラットフォームを設計・構築し、運営する。
3. ケースメソッド教育研修の提供  
大学・大学院の授業にとどまらず、要請に応じて企業や自治体などでケースメソッド教育・研修を実施し、そのノウハウを提供し、人材育成につなげる。
4. ケースメソッド教育の効果検証  
ケースメソッド教育の効果検証に関する研究を行う。
5. 成果の発信  
ケースメソッド教育に関するシンポジウムなどを開催する。

### ■本年度の活動

#### ●開発したケース教材

- ・「輪島KABULET-人口減少社会」における地域づくりに挑む移住者チーム-」（作成：久具山圭子、監修：飯盛義徳）
- ・「高知県日高村のゲストハウス構想—地域組織・村役場・移住者の連携による持続可能な地域づくりを目指して—」（作成者：佐竹祐次郎、監修：飯盛義徳）
- ・Kominers, Scott Duke, Masahiro Kotosaka, Nobuo Sato, and Akiko Kanno. "Raksul." Harvard Business School Case 819-115, April 2019. (Revised June 2019.)
- ・「Fujisawaサスティナブル・スマートタウン2 街づくりは“つくる”から“育てる (Co-creation)”へ」（作成者：櫻井美穂子、國領二郎）
- ・ECHONET Lite -2019--System configuration on ECHONET Lite: Virtual Power Plant [VPP]-（作成者：梅嶋真樹）

#### ●セミナーの開催など

- 九州大学ビジネス・スクール社会連携事業 「短期エグゼクティブ・プログラム」でのケースメソッド講座  
・日時：2020年1月5日  
・内容：「ネット社会と企業経営」、「内子町からり」、「鴨池システム」などのケースディスカッション
- 富山高志塾でのケースメソッドによる実践的マネジメント講座（春学期：5月～7月、秋学期：10月～12月）
- 群馬民医連でのケースメソッドによる介護防災ワークショップ  
・日時：2019年10月25日  
・内容：「震災時のマネジメント—社会福祉法人さくら会—」のケースディスカッション
- 慶應義塾大学院健康マネジメント研究科「公衆衛生マネジメント」授業  
・日時：2019年6月27日  
・内容：「介護保険事業所パッション3.11編」のケースディスカッション

●ケース教材の開発

・科学研究費助成事業 基盤研究（C）「介護事業所における大規模自然災害対応に関する研究と教育プログラムの開発」（研究代表者：伴英美子）2019-2021

・ヒアリング調査：熊本県上益城郡調査2019年8月29日-30日、岡山県倉敷市調査2019年11月28日-29日

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

【開発ケース教材】

- ・「輪島KABULET-人口減少社会」における地域づくりに挑む移住者チーム-」（作成者：久具山圭子、飯盛義徳）
- ・「高知県日高村のゲストハウス構想—地域組織・村役場・移住者の連携による持続可能な地域づくりを目指して—」（作成者：佐竹祐次郎、飯盛義徳）
- ・Kominers, Scott Duke, Masahiro Kotosaka, Nobuo Sato, and Akiko Kanno. “Raksul.” Harvard Business School Case 819-115, April 2019. (Revised June 2019.)
- ・「Fujisawaサステイナブル・スマートタウン2 街づくりは“つくる”から“育てる (Co-creation)”へ」（作成者：櫻井美穂子、國領二郎）
- ・ECHONET Lite -2019--System configuration on ECHONET Lite: Virtual Power Plant [VPP]-（作成者：梅嶋真樹）